

平成29年9月14日

小国中 NEWS

発行 小国中学校内

ヤギ明々プレス社

Pixta-JP - 21616890

9月13日(水) 1年1組 国語研究授業 話し合い、他に学ぶ、自ら学ぶ

9月13日(水) 3校時、1年1組の国語の授業研究が実施された。須田裕美教諭の指導による話し合い活動の授業であった。小国小を訪問し、班ごとに小学生に「読み聞かせ」を行う計画があり、その読み聞かせにふさわしい本を各自が紹介し、どの本がふさわしいかを、話し合いを通して決定するという活動が行われた。班毎一人ひとりが自分が読み聞かせにふさわしいと推薦する本を、理由添えて紹介し、その後、本を決定する話し合いが行われた。

一人ひとりの発表にしっかりと耳を傾け、メモを取りながら聞く姿や、紹介された本を食い入るように見ながら説明に聞き入る姿、発表をうなずきながら聞く姿がどの班にも見られた。話し合いも様々な視点からの意見が出され、充実したものとなった。

話し合いの結果、それぞれの班が以下のような本を読み聞かせすることに決定した。

- 1班 小国小2年生に「ひとりぼっちのかいぶつといしのうさぎ」
- 2班 小国小4年生に「1つぶのこめ」
- 3班 小国小5年生に「王さまライオンのケーキ」
- 4班 小国小3年生に「くまのこうちょうせんせい」
- 5班 小国小1年生に「こんもりくん」
- 6班 小国小6年生に「戦争で死んだ兵士のこと」

話し合いが速く進んだ班の中には、自分たちで自主的に読み聞かせの練習に取り組んだり、読み聞かせの分担を話し合ったり、お互いの本を交換して読みあうなど、先生の指示を待つのではなく、自分たちから時間を無駄にしないように、進んで活動に取り組んだ班も見られたことは素晴らしいことであった。

「他の意見をしっかりと聞く態度」、「他の良さに学ぶ態度」自分の考えをしっかりと持ち、堂々と発表する力」・・・、須田先生の指導のもと、1年生は、中学生に求められる力を着実に身につけてきている。



9月13日(水) 3年男子保健体育研究授業 共に学ぶ 自ら学ぶ 粘り強く学ぶ

9月13日(水) 4校時、3年生男子の保健体育の授業研究が実施された。樋口将徳教諭の指導によるマット運動の授業であった。空中転回、バック宙返り、3点倒立、跳ね起き、開脚前転・後転など、生徒一人ひとりが自分で習得を目指す技を決定し、同じ技に取り組む仲間とアドバイスしあいながら練習に取り組んだ。タブレットやビデオカメラでお互いの試技を撮影し、各自の課題を確認したり、樋口教諭の模範演技を参考にしたり、様々な工夫で練習がサポートされ、学習活動が展開された。授業を参観した先生方から見事な技のパフォーマンスに歓声が上がる場面や樋口教諭からの賞賛の声が聞かれる場面もあり、活気あふれる授業となった。

生徒諸君の頑張りが多く見られた授業となったが、本紙記者が特に感心したのは以下の3点である。

- (1) 生徒同士がアドバイスしあい、励まし合い、賞賛しあい、ともに高め合おうとする切磋琢磨する姿、共に学ぶ姿が多く見られたこと。
- (2) 誰かにさせられる活動ではなく、一人ひとりが自ら積極的に練習に取り組んでいたこと。
- (3) できなくても、繰り返し繰り返し、何度も何度もあきらめることなく、粘り強く練習に取り組む懸命な姿が見られたこと。



放課後、この授業を振り返っての事後研究会が行われ、その場でも3年生の授業に向かう積極的な態度に賞賛の声が多く上がった。様々な工夫や準備に意を尽し、生徒の頑張りを引き出した樋口教諭にも賞賛の声が多く寄せられた。

小国中 NEWS

平成29年9月15日

発行 小国中学校内

ヤギ明々プレス社

DIXTA-JP - 21616890

先生方も挑戦します！！！！

情報機器の活用



小国中学校は小国小学校、小国高校とともに小中校一貫教育に取り組む学校です。小国町の一貫教育の柱の一つが「情報」です。小国小学校で取り組んだ「情報」の授業に続き、小国中では横山一美先生の指導による「情報」の授業に引き継がれ、さらに小国高校ではより高度な情報教育となり、各種情報関係の資格取得へとつながっていきます。そして、その資格を生かして多くの先輩たちが社会で活躍しています。これは小国町の教育の大きな特徴であり、他の市町村の学校には見られない大きな特色です。

小国中学校では、生徒の情報機器活用力を高めるために情報機器の導入に積極的に取り組むとともに、指導に当たる先生方の情報機器活用力の向上に取り組んでいます。9月13日（木）に実施された1年1組の国語の研究授業、3年男子の保健体育の研究授業では、多くの先生方がタブレットを手に参加しました。タブレットを使い、授業の様子を記録し、授業についての意見交換に活用するためです。先生方の中には、情報機器の活用が得意でない先生も少なくありません。しかし、先生方も生徒に負けずに情報機器の活用挑戦し、より良い指導を目指そうと努力しています。小国中では、自ら挑戦するのは生徒だけではありません。先生方もまた、挑戦者なのです。